

ellex SLT Seminar Vol.16

ステロイド緑内障に対する

SLT

第34回日本緑内障学会 イブニングセミナー1

日時 2023年9月8日(金) 17:55~18:45

会場 第1会場(虎ノ門ヒルズフォーラム 5F メインホール1)

共催：第34回日本緑内障学会 / エレックス株式会社



杉山 和久 先生

新田 耕治 先生

輪島 良太郎 先生

内藤 知子 先生

選択的レーザー線維柱帯形成術 (SLT) が日本でも注目され、SLT施行頻度が年々増加している統計をよく目にするようになった。一方で、SLTを施行したら、かえって眼圧が上昇して困ったという声も時々耳にする。では、どのような病型に施行するとよいのであろうか。SLTで最も眼圧が下降する病型はステロイド緑内障と言われている。2017～2021年に福井県済生会病院で施行した硝子体手術症例(+PEA+IOLやIOL強膜内固定も含む)のうち、1年以上経過観察できた症例で、術中に使用したステロイドによると思われる眼圧上昇をきたした症例が約17%であった。これらのうち、SLTの追加治療により眼圧が安定した症例も経験した。また、他院にて全身疾患の治療のために全身投与されたステロイドにより眼圧上昇した患児にSLTを施行し著効した症例もあると伺う。ステロイド緑内障に対するSLT治療を考える際に、まず、この緑内障が本当にステロイドに起因した眼圧上昇かということである。ぶどう膜炎などの炎症による眼圧上昇の可能性も症例によっては考えられる。次に、ステロイド緑内障にSLTが著効した場合には何年ぐらい効果が持続するのであろうか。最後に、ステロイド緑内障にSLTが効かなかった場合にはどんな緑内障手術が良いのかなどについて議論したいと思います。

本シリーズ16回目の今回は、『ステロイド緑内障』に病型を限定して企画しました。金沢大学 杉山和久教授、グレース眼科クリニック 内藤知子先生、金沢大学 輪島良太郎先生を交えて、明日からすぐに役にたつ情報を発信したいと思います。多数の先生のご聴講をお待ちしております。

座長

杉山 和久 先生 (金沢大学)

新田 耕治 先生 (福井県済生会病院)

演者

新田 耕治 先生 (福井県済生会病院)

輪島 良太郎 先生 (金沢大学)

内藤 知子 先生 (グレース眼科クリニック)

お知らせ 第34回日本緑内障学会への参加には、参加登録が必要です。7月31日(月)まで、早期割引を実施しております。



エレックス株式会社

〒104-6009 東京都中央区晴海1-8-10

晴海アイランドトリトンスクエアオフィスタワーX棟 9F

TEL. 03-5859-0470 FAX. 03-5859-0471 <https://ellex.jp>